



主催：一般社団法人 関西建築構造設計事務所協会
後援：一般社団法人 日本建築構造設計事務所協会連合会（FASA）
一般社団法人 日本建築構造技術者協会（JSCA）関西支部
一般社団法人 日本建築学会 近畿支部
公益社団法人 大阪府建築士会
一般社団法人 大阪府建築士事務所協会

第49回 公開講演会 報告

報告日 2024年10月28日

会 長 正木 忠

技術委員長 野村 毅

第49回公開講演会は、2024年10月21日に大阪市内の建設交流館8階グリーンホールにおいて開催されました。

多数の参加者が集まる中、正木会長の主催者挨拶から始まり、講演会は「近年の被害地震における建築基礎の被害と課題」という題目で、大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻 教授の柏 尚稔先生に、ご講演いただきました。



最初に、近年の被害地震（東北地方太平洋沖地震、熊本地震、能登半島地震）での杭基礎被害について、建物の沈下や傾斜の事例を紹介いただきました。杭の被害報告は多数あり旧耐震基準以前の建物の割合が多く新耐震以降の1次設計を満足するものでも被害はみられることや、杭被害のある建物は上部の構造部材の被害は少ないが、建物が傾斜している場合は結果的に取壊しとなり経済損失が大きいとのことでした。

最後に、杭の耐震設計の課題について、レベル2荷重の要求性能に応じてグレードがあるが、一般的には倒壊・崩壊に至らない設計が行われている、実際の震災では倒壊・崩壊に至っている例が見受けられ、基準法の極稀地震を超える地震動に対する設計が必要であり、設計法の妥当性の担保と限界状態の設定が重要との見解を頂きました。



ご参加いただきました皆様にとって有益な講演会であったことを切に願います。また、会員の皆様のご協力を得て円滑に開催することができました事、改めて感謝申し上げます。

対象者 建築構造関係者

参加費 無料

参加者 98名